

伊豆北川温泉 黒根岩風呂 及び 旅館 大屋丸

Izu Hokkawa Onsen Kurone Iwaburo and Inn Ooyamaru
(静岡県賀茂郡東伊豆町)



伊豆北川温泉全景

日本百名山である天城山。その最高峰は、万三郎岳（標高 1,405m）である。我々取材班は、天城高原ゴルフ場から紅葉の残る万三郎岳を登り、約 4 時間の登山で程よい疲労感を得た後に、伊豆北川温泉へやってきた。北川温泉は「きたがわ」ではなく「ほっかわ」と読む。国道 135 号線を南下し、海沿いの道に入るとそこが北川温泉の温泉街だ。

温泉街の入口近くにあるのが、今回紹介する露天風呂「黒根岩風呂」である。オーシャンビューを満喫しながら入浴を楽しめる絶景風呂だ。

黒根岩風呂は、北川温泉の各宿の宿泊者なら入浴料が無料。宿で貰う屋号入りの手ぬぐいを受付で提示すればよい。

そしてこの露天風呂は基本的に混浴だ。タオルを体に巻きつけて入浴することも許されている。奥には女性専用の浴槽もあるが、定員が 3 人程度と小さいらしい。混雑していれば、女性も混浴側を利用することになる。

尚、黒根岩風呂には洗い場はない。石鹸も使用禁止だ。浴槽に浸かって海を眺める。それが唯一のこの温泉の楽しみ方だ。

湯温は手前が熱めで、奥が若干ぬるめであるが、季節や時間帯によっても異なるかもしれない。湯は少し濁りがある程度である。

ちなみに、黒根岩風呂の湯は、含石膏弱食塩泉で神経痛、関節痛、筋肉痛、リウマチ、冷え性、疲労回復などに効くという。

露天風呂を楽しんだ後は、宿泊場所の内風呂で体を洗う。今回紹介する大屋丸は、北川温泉の一番奥にある。黒根岩風呂からは徒歩約 10 分のところだ。



旅館大屋丸の外観



旅館大屋丸の内風呂

旅館大屋丸は、小規模な民宿だ。他の旅館がどうかは知らないが、大屋丸の食事は、伊豆の海の幸をふんだんに使った豪華なものである。その日の朝獲れた特別なネタ（マンボ一等）が供されることもある。

浴室は 2 つ。ともに貸し切りで使用する。フロント近くにおいてある木の札を持っていき、内風呂の入口にそれを掲げれば、貸し切りで使用していることを示すことになる。浴室は 2 人程度で利用するのがちょうどよい広さだ。リンスインシャンプーとボディーソープは具備されている。貸し切りなので、浴槽の温度調整や、窓を開放しての入浴も自由だ。

ちなみに、大屋丸の湯は、ナトリウム・カルシウム・塩化物温泉（低張性・弱アルカリ性・高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、や

けど、慢性皮膚病、慢性婦人病、虚弱児童に効くという。

大屋丸の良いところは、朝の漁の水揚げが目の前で行われることである。ここでは地元の人だけでなく、だれでも新鮮な魚を飼うことができる。料金は購入する魚の総重量で決めるらしい。興味がある方は、クーラーボックス持参で訪れよう。

取材最終日は、天城峠とその旧トンネル等を巡って帰京した。その旧トンネルは今でも一般車の通行が可能だ。もちろん歩いても通行できる。

北川温泉は、海の幸と温泉をたっぷり楽しめる場所だった。



北川温泉の朝の水揚げ風景

- 名称：伊豆北川温泉 黒根岩風呂
 - 所在地：静岡県賀茂郡東伊豆町北川温泉
 - 電話：0557-23-3997
 - 営業時間：6:30～9:30、13:00～21:00（19:00～20:00 は女性専用）
 - 定休日：無休
 - 通常入浴料：北川温泉各宿の宿泊客は無料、それ以外は 600 円
 - サウナ：なし
 - サウナ内のテレビ：なし
 - 取材日：2012 年 11 月 10 日（土）、11 日（日）
 - 取材：銭湯愛好会・東京支部
-
- 名称：伊豆北川温泉 旅館 大屋丸
 - 所在地：静岡県賀茂郡東伊豆町北川 1020
 - 電話：0557-23-0567
 - 営業時間：要確認
 - 定休日：無休
 - 通常入浴料：宿泊客は無料、日帰り入浴不可
 - サウナ：なし
 - サウナ内のテレビ：なし
 - 取材日：2012 年 11 月 10 日（土）、11 日（日）
 - 取材：銭湯愛好会・東京支部